

# 平成 28 年度中学生チャレンジテスト

## 第 2 学年 社会 B

### 注 意

- 1 調査問題は、1 ページから 16 ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑤（社会 B）に記入してください。
- 3 解答は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を**選択肢**から選ぶ問題は、解答用紙の**マーク欄**を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された**解答欄**に記入してください。  
また、**解答欄**からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の〔生徒記入欄〕に、組、出席番号、男女を記入し、**マーク欄**を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は 45 分です。

下に、生徒アンケートが 2 問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄の**マーク欄**を黒く塗りつぶしてください。

#### アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるものを一つずつ選びなさい。

当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
-------	----------------	------------------	---------

- (1) 社会の授業の内容はよく分かる。…………… ① — ② — ③ — ④
- (2) 社会の授業で目的に応じて資料 …………… ① — ② — ③ — ④  
を読み、自分の考えを話したり、  
書いたりしている。



問題は、次のページから始まります。

1 人口に関するあとの問いに答えなさい。

- (1) 次の表は、2014年の日本の<sup>ねんれい</sup>年齢別人口構成を表しています。この表を人口ピラミッド（5歳<sup>さい</sup>階級別人口構成図）で表したものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

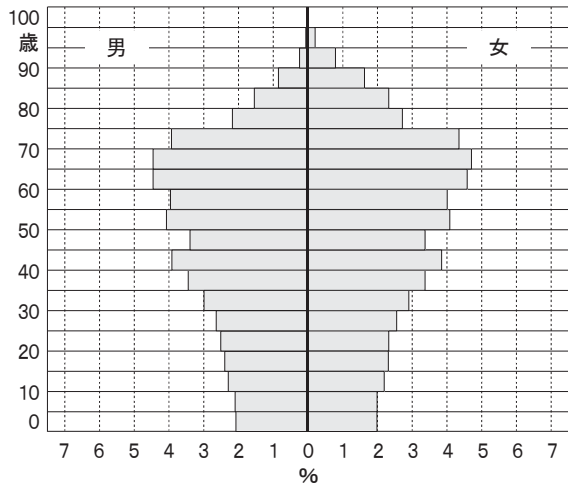
表

日本の年齢別人口構成（2014年10月現在）

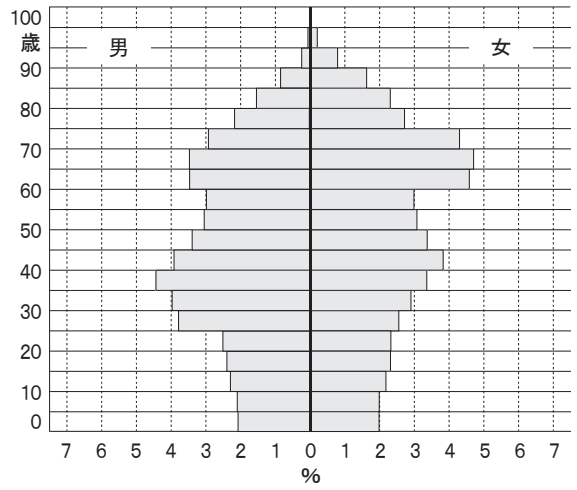
割合（%） 年齢（歳）	男	女
0～4	2.10	2.00
5～9	2.14	2.04
10～14	2.30	2.19
15～19	2.42	2.31
20～24	2.51	2.37
25～29	2.69	2.57
30～34	2.98	2.89
35～39	3.46	3.37
40～44	3.90	3.81
45～49	3.41	3.37
50～54	3.07	3.06
55～59	2.99	3.03
60～64	3.47	3.60
65～69	3.47	3.73
70～74	2.90	3.34
75～79	2.18	2.75
80～84	1.53	2.30
85～89	0.81	1.60
90～94	0.25	0.78
95～99	0.05	0.23
100～	0.01	0.04
総計	48.63	51.37

『日本国勢図会 2015/16』により作成

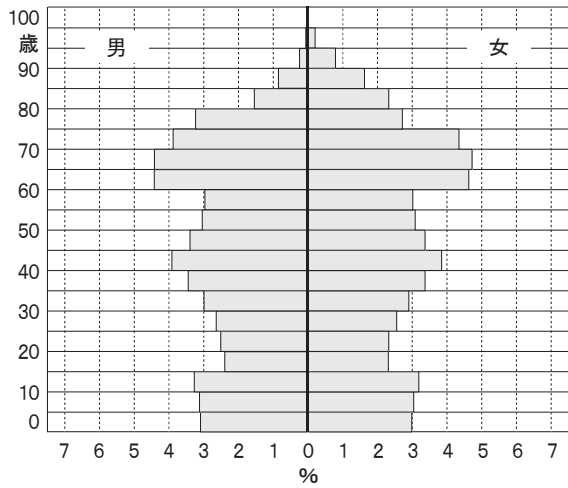
ア



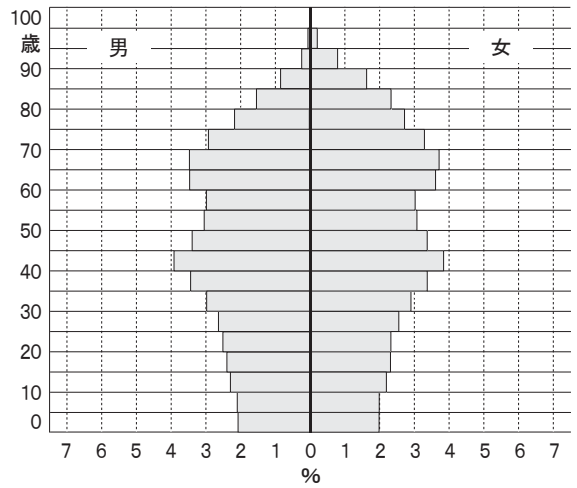
イ



ウ

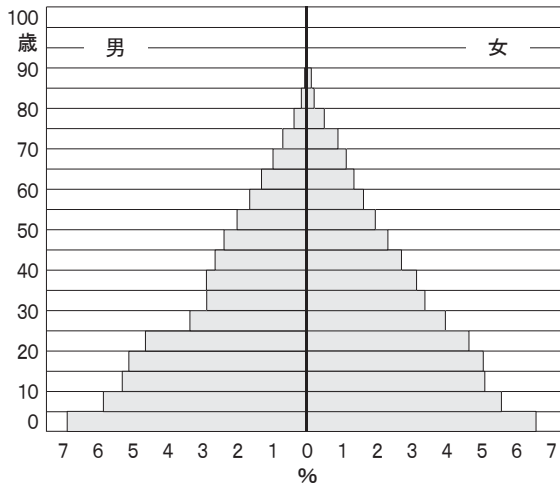


エ

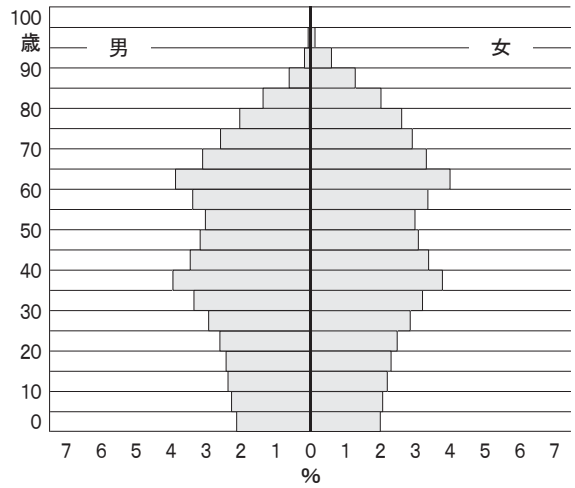


(2) 次のア～エの人口ピラミッド（5歳階級別人口構成図）は、日本の1950年、1970年、1990年、2010年の状態のいずれかを表しています。1970年の日本の状態を表しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

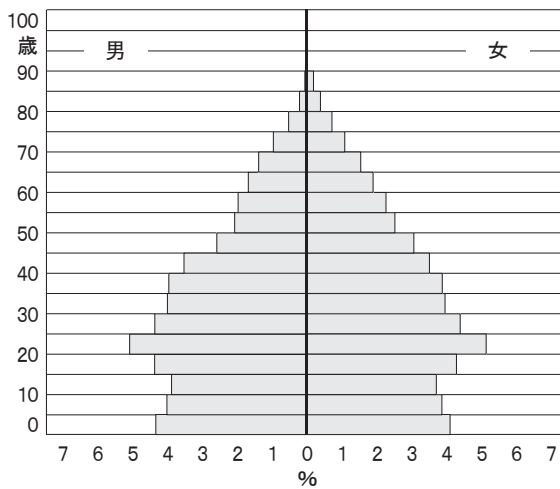
ア



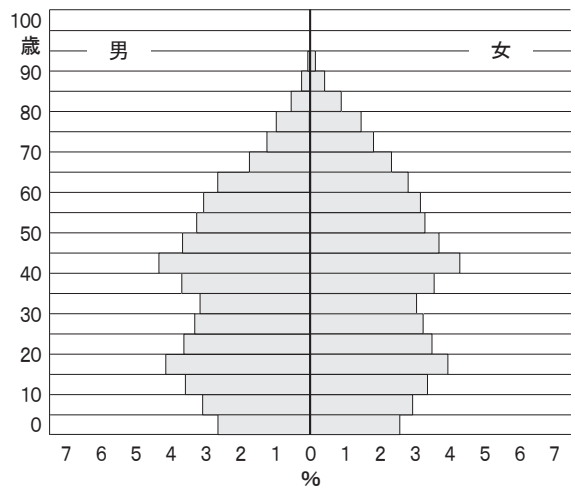
イ



ウ



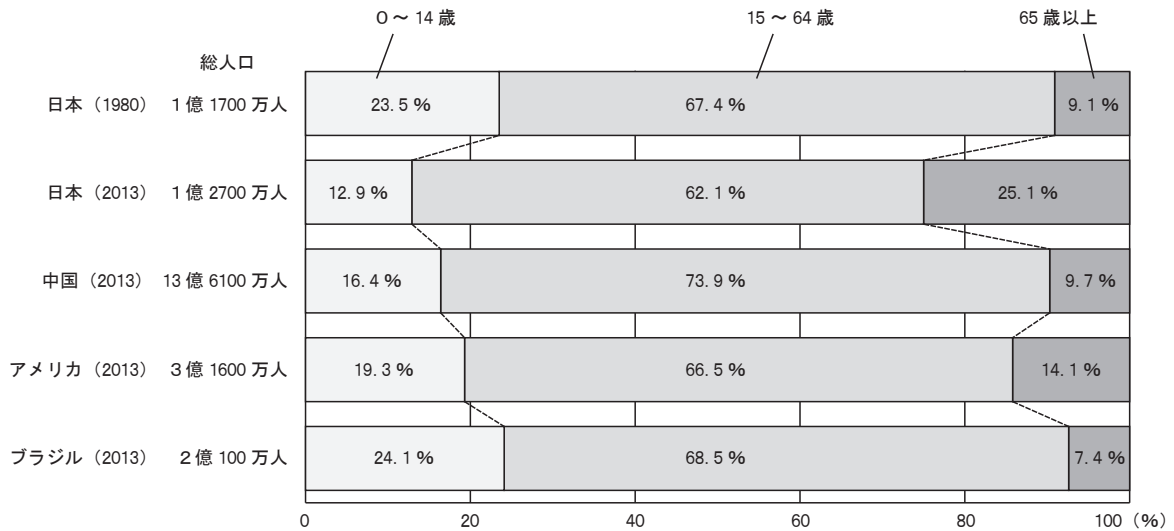
エ



総務省の資料により作成

- (3) 次のグラフは、1980年の日本、2013年の日本、中国、アメリカ、ブラジル、それぞれの総人口と年齢構成の比較を示したものです。グラフから読み取れる内容として誤っているものを、下のア～エから一つ選びなさい。

### 総人口と年齢構成の比較



\*四捨五入の関係で内訳の合計が100%にならない場合がある。

『日本国勢図会 2014/15・2015/16』により作成

- ア 2013年の日本は、中国、アメリカ、ブラジルと比べると、65歳以上の人口割合が最も高く、また、0～14歳と15～64歳の人口割合が最も低い。
- イ 2013年において、15～64歳の人口が最も多いのは中国で、次に多いのがブラジル、そして、アメリカ、日本の順になっている。
- ウ 2013年のブラジルの年齢構成と最も類似しているのは、1980年の日本の年齢構成である。
- エ 2013年の日本は1980年の日本より、0～14歳の人口割合でほぼ半減し、65歳以上の割合は三倍近くになっている。

2 授業で、「四国地方における私が選んだ県の特徴」について、自分たちで調べたことや資料などを参考にして発表しました。次の四国地方の地図と表1、図1とAさん、Bさん、Cさん、Dさんのそれぞれの発表と先生のことばを読み、あとの問いに答えなさい。ただし、表1の中のW、X、Y、Zは、四国地方四県のいずれかの県を表しています。

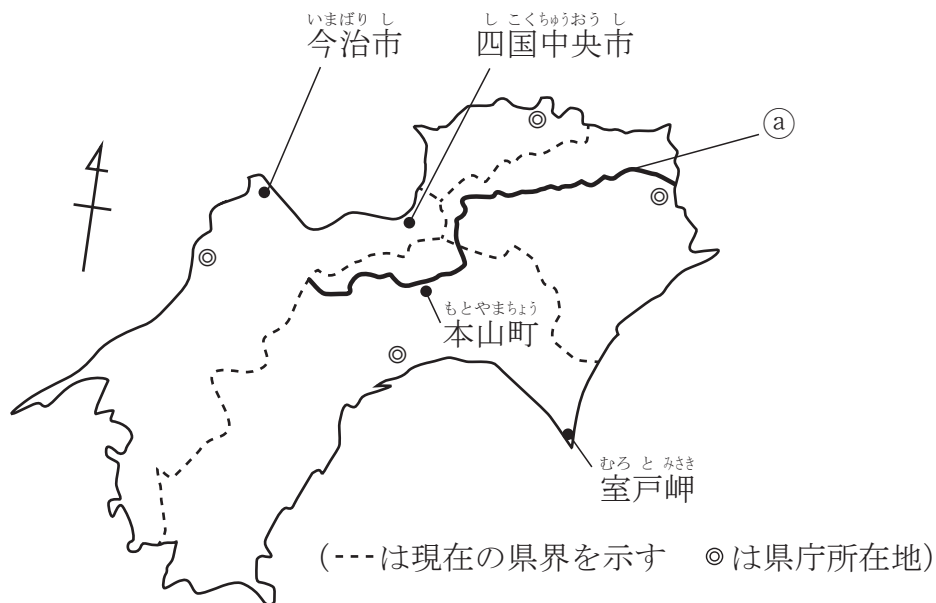


表1

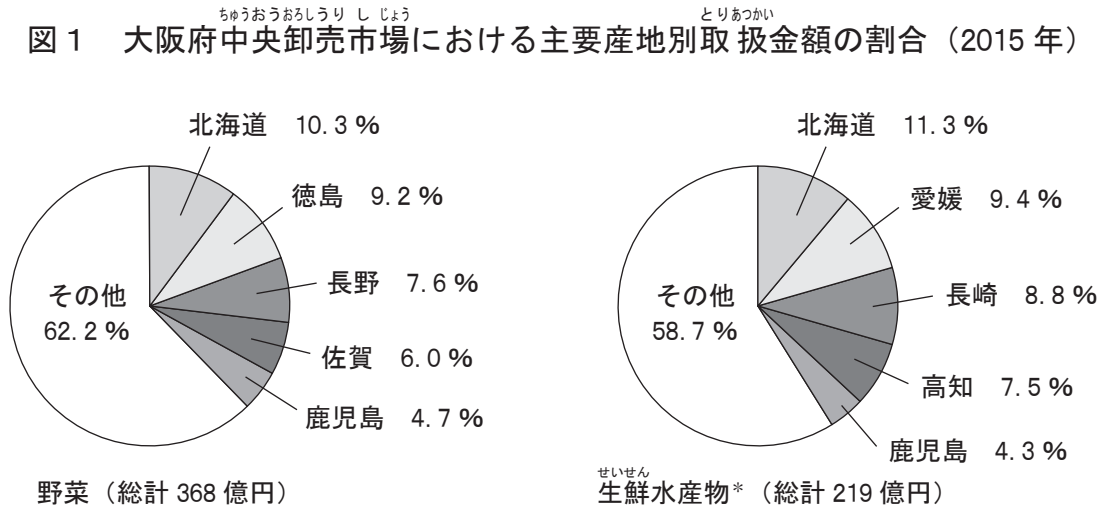
四国地方四県と大阪府の状況

項 目		W	X	Y	Z	大阪府
面積 (km <sup>2</sup> )	(2014年)	4,147	1,877	5,676	7,104	1,905
人口 (人)	(2014年)	763,864	981,082	1,395,483	737,737	8,835,525
県内総生産 (億円)	(2012年)	28,389	37,635	47,161	21,604	368,430
農業産出額 (億円)	(2013年)	984	760	1,291	938	331
漁業生産額 (億円)	(2013年)	141	181	849	490	31
産業別 有業者割合 (%) <sup>*</sup> (2012年)	第1次産業	9.7	6.0	7.6	12.0	0.4
	第2次産業	24.5	25.5	24.0	18.5	25.2
	第3次産業	65.8	68.6	68.4	69.5	74.4
昼夜間人口比率 (%) [昼間の人口 ÷ 夜間の人口 × 100] (2010年)		99.7	100.2	100.1	99.9	104.7

\* 四捨五入の関係で内訳の合計が100%にならない場合がある。  
『データでみる県勢 2016』より作成



図1 大阪府中央卸売市場における主要産地別取扱金額の割合（2015年）



\*生鮮水産物とは、加工・冷凍されていない水産物  
「大阪府中央卸売市場年報 平成 27 年」より作成

Aさん 「私が選んだ県は、東西に長い扇形をしていて、北には（あ）山地が連なり、南には太平洋が広がります。人口・県内総生産は他の三県と比べると少ないけれど漁業生産額は少なくなく、大阪府中央卸売市場で取り扱われる生鮮水産物の金額も多いです。江戸時代には、紀伊（和歌山県）と並んで（Ⅰ）や（Ⅱ）が盛んになりました。また、なすの収穫量は全国一です。」

Bさん 「私が選んだ県は、海岸線が長くてその延長は約 1,700 km で全国五位になっています。漁業も盛んで、他の三県よりも生産額は高くなっていて、大阪府中央卸売市場で取り扱われる生鮮水産物の金額も多いです。人口は百万人を超えて四国地方で一番です。また、タオルは全国一の出荷額です。」

Cさん 「私が選んだ県は、四国地方四県の中では一番面積が小さいです。県内総生産は四国地方四県の中では、二番目に高いです。最近では「うどん県」としても有名です。県庁所在地は（い）市です。」

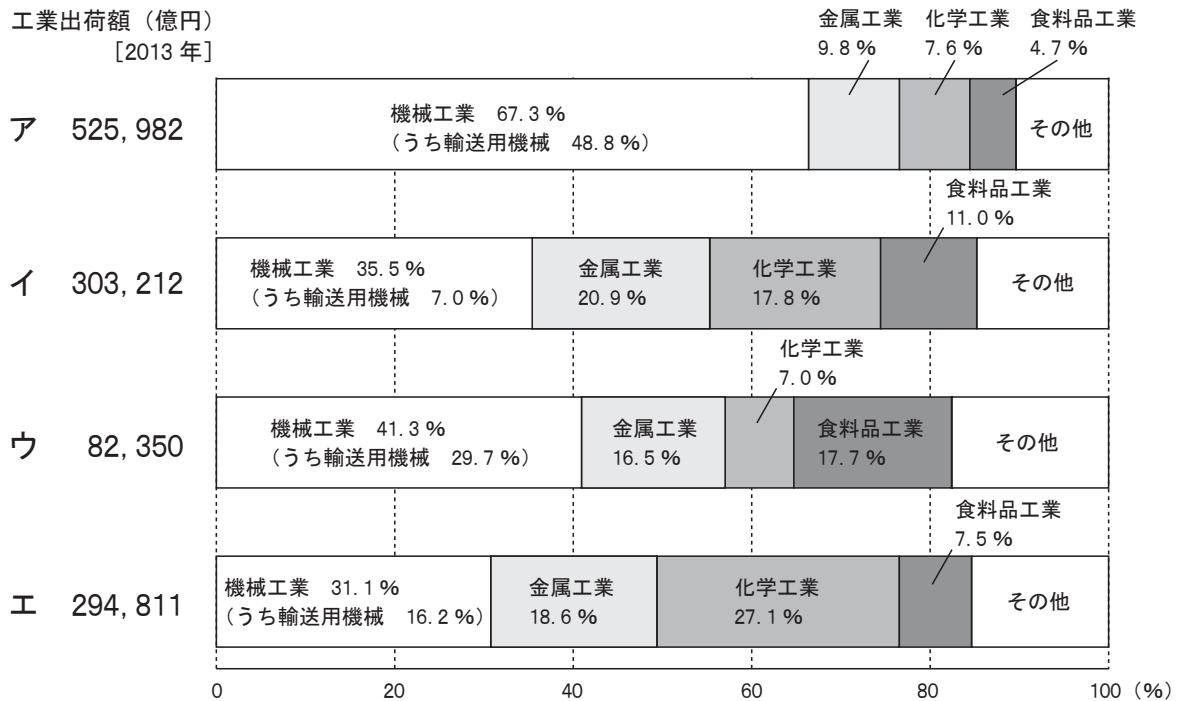
Dさん 「私が選んだ県は、四国地方四県の中では、農業産出額は二番目に高く、大阪府中央卸売市場で取り扱われる野菜の金額が多いです。県庁所在地の北を流れる地図中の①で示している（う）川は、四国でも有数の美しい川です。」

先生 「それぞれがその県の特徴をうまくとらえていましたね。さらにさまざまな角度から四国地方四県について調べていきましょう。」

- (1) Bさんが発表した県の名前を書きなさい。
- (2) （あ）・（い）・（う）に入る適切な語を書きなさい。

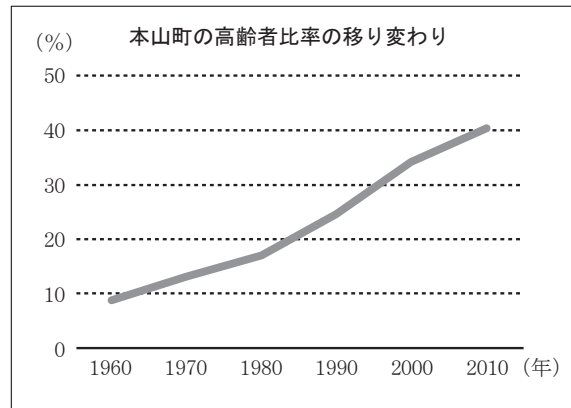
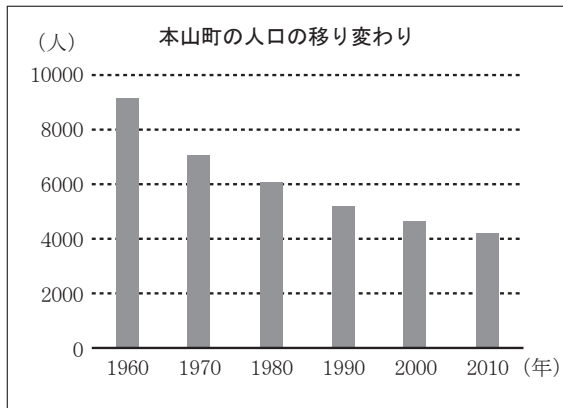


- ③ 瀬戸内海をはさんで、四国地方の北部と中国地方の南部の都市を中心に瀬戸内工業地域が発展しています。次のア～エのグラフは、瀬戸内工業地域・阪神工業地帯・中京工業地帯・北九州工業地帯（地域）のいずれかの工業出荷額とその内訳を表しています。瀬戸内工業地域に当たるものを、次のア～エから一つ選びなさい。



『日本国勢図会 2015/16』により作成

- ④ 地図中にある本山町<sup>もとやまちょう</sup>では、近年地域住民や関係機関が協力して、地域の特産品づくりやその販売<sup>はんばい</sup>、宿泊施設<sup>しゅくはくしせつ</sup>を活用した体験交流イベントなど様々な活動に積極的に取り組んでいます。次の資料を参考にして、本山町の実情と取り組みの目的について、40字程度で書きなさい。



高齢者比率 = 65歳以上の人口 / 総人口 × 100 (%)

○本山町の自立促進計画<sup>そくしん</sup>の基本方針より

将来にわたって活力ある地域<sup>いじ</sup>を維持していく総合戦略として策定した「本山町ひと・しごと・まち創生総合戦略」(本山町の長期的な振興計画)を推進する……

本山町 WEB ページにより作成

問題は、次のページに続きます。

3 次の与謝蕪村よ さ ぶ ぞ んについての文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

平成 27 (2015) 年の 3 月に江戸時代中期の俳人・画家である与謝蕪村の直筆の手紙が見つかったことが発表されました。

蕪村は、手紙の中で、妻の妹が河内から訪ねてきたことや、娘が手習い (習字) <sup>①</sup>を始めたことなどを書いています。

蕪村はさまざまな俳句を残していますが、その中の「河内女の宿に居ぬ日やきじの声」という句は、今までは、河内女を河内木綿を織っている女性と考へて、その機織りがいないのでその音が聞こえず、静かな中に甲高いきじの音がするという解釈がされていましたが、手紙の内容から河内女を妻 (河内出身) と考へると、妻がいないのできじの音がさびしく聞こえるという解釈も成り立つことがわかりました。

手紙の主である蕪村が生まれた 1716 年、江戸では徳川吉宗が八代将軍になりました。吉宗は幕府財政の立て直しに取り組み、後世、享保の改革 <sup>②</sup>と呼ばれる取り組みをおこないました。

蕪村はやがて江戸に行き、晩年は京都に定住しました。蕪村のよく知られた句である「菜の花や月は東に日は西に」は、59 歳のときに詠まれたものです。

蕪村が亡くなった 1783 年は、浅間山が噴火し大きな被害が出ました。おりからの冷害と重なり、天明のききん (1782 ~ 1787) <sup>③</sup>の拡大につながり、各地で百姓一揆などが急増しました。

蕪村は江戸時代の中でも、大きな節目の時期を俳句とともに生きたと言えましょう。

- (1) 与謝蕪村が生まれた年は、何世紀に当たりますか。数字を書きなさい。
- (2) 江戸時代の文化は、大阪・京都を文化の中心にした元禄文化と江戸を文化の中心とした化政文化に特徴づけられます。次の問いに答えなさい。

① 俳人である与謝蕪村は化政文化の時代の人物ですが、元禄文化の時代に俳諧を芸術に高めた人物の名前を、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 小林一茶 <sup>こばやいっ さ</sup>      イ 松尾芭蕉 <sup>まつお ばしやう</sup>      ウ 十返舎一九 <sup>じっぺんしゃいっく</sup>      エ 滝沢馬琴 <sup>たきざわ ば きん</sup>

② 次のア～オのうち化政文化の時代の人物の名前を二つ選びなさい。

ア 葛飾北斎 <sup>かつしかほくさい</sup>      イ 菱川師宣 <sup>ひしかわもろのぶ</sup>      ウ 俵屋宗達 <sup>たわら や そうたつ</sup>  
エ 歌川 (安藤) 広重 <sup>うたがわ あんどう ひろしげ</sup>      オ 尾形光琳 <sup>お がたこうりん</sup>

③ ②の**ア～オ**の人物の中の三人に共通するものとして、江戸時代に主として町人の風俗などをえがいた民衆的な絵画があげられます。この絵画は何と呼ばれていますか。書きなさい。

(3) 蕪村の娘について、下線部㉔とありますが、江戸時代、農民や町人の子どもたちが読み・書き・そろばんなどを習った庶民の教育機関は何と呼ばれていますか。漢字で書きなさい。

(4) 下線部㉕に関して、次の①・②の文中の（ a ）、（ b ）に入る適切な語を書きなさい。

① 木綿（綿花）や菜種、べに花、藍など農民が貨幣を得るためにつくる作物は（ a ）作物と呼ばれています。

② 商人が農民などに原料や道具を前貸しして、布などの製品として加工させ賃金を支払う、江戸時代におこった生産方法は（ b ）工業と呼ばれています。

(5) 次の**ア～エ**のうち、下線部㉖の取り組みに**当たらないもの**を一つ選びなさい。

**ア** 質素<sup>けんやく</sup>節約につとめ、新田開発を行った。

**イ** 裁判の基準となる公事方御定書<sup>くじがたおさだめがき</sup>を制定した。

**ウ** 庶民の意見を参考にするため、江戸に目安箱<sup>めやすばこ</sup>が置かれた。

**エ** 旗本・御家人の借金を帳消しにしてその生活苦を救った。

(6) 下線部㉗のような情勢の中で、商工業者の力で幕府財政の建て直しを図ったり、長崎貿易<sup>ながさきばうえき</sup>を推進した（ A ）に代わり、（ B ）が幕府の中心となり、寛政の改革をすすめました。

（ A ）と（ B ）に入る人物の名前の組み合わせとして正しいものを、次の**ア～オ**から一つ選びなさい。

**ア** A－松平 定信<sup>まつだいら さだのぶ</sup> B－田沼 意次<sup>たぬま おきつぐ</sup>

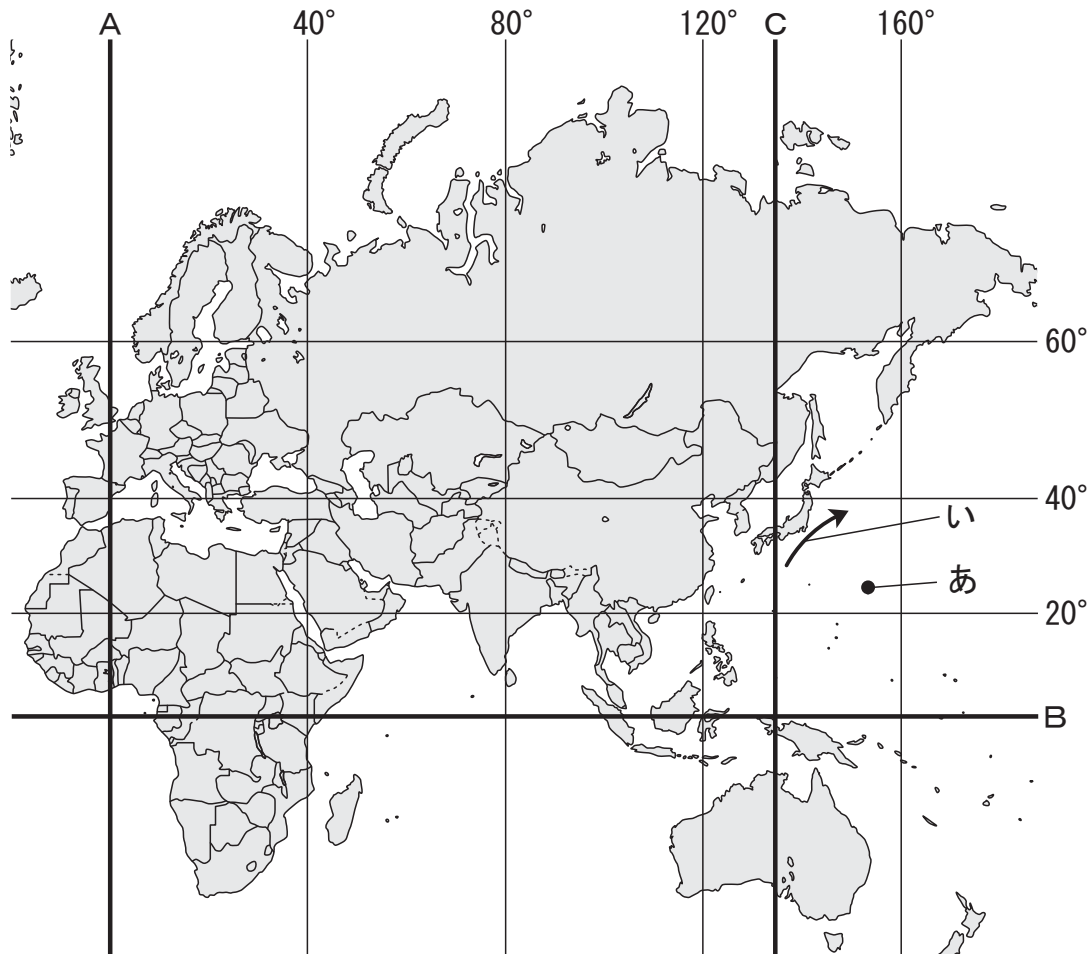
**イ** A－徳川 綱吉<sup>とくがわ つなよし</sup> B－田沼 意次

**ウ** A－田沼 意次 B－松平 定信

**エ** A－田沼 意次 B－徳川 綱吉

**オ** A－徳川 綱吉 B－松平 定信

4 次の地図は社会科の授業で使われたものです。下の社会科の授業における会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。



先生：みなさん，地図を見てください。Aの線は本初子午線<sup>ほんしょしごせん</sup>，Bの線は赤道<sup>せきどう</sup>を，Cの線は日本の（ a ）子午線を表しています。Kさん，Cの線が表しているのは，東経<sup>とうけい</sup>ですか，西経<sup>せいけい</sup>ですか。また何度になりますか。

Kさん：東経で（ b ）度です。

先生：そうですね。日本はCの線を基準に（ a ）を決めています。Lさん，地球がほぼ一日で360度回転しているとして，1時間の時差は何度になりますか。

Lさん：360度を24時間で割って考えると，15度で1時間の時差になります。

先生：KさんとLさんの答えから時差について考えてみましょう。例えば，Aの線上に位置するイギリスのロンドンが1月12日午前9時の時は，日本では1月何日何時になりますか。

Mさん：はい，1月（ c ）になります。

先生：そうですね。次に，この地図から読み取れる日本のおおよその位置を考えてみましょう。経度<sup>けいど</sup>と緯度<sup>いど</sup>であらわすとしたらどの範囲<sup>はんい</sup>になるのでしょうか。

Iさん：（ d ）です。



先生：おおよそ、その位置にありますね。では、地図の **あ** の位置にある日本の最東端<sup>①</sup>の島の名前を地図帳で調べてみてください。

さて、島国である日本のまわりにはいくつかの海流が流れています。地図の **い** の矢印のように流れている海流はなんですか。また、それは暖流ですか、寒流ですか。

Jさん：暖流の（ e ）海流です。黒潮とも呼ばれます。

- (1) （ a ）に入る適切な語を書きなさい。
- (2) （ b ）に入る適切な数字を書きなさい。
- (3) KさんとLさんの答えから考えて、（ c ）に入る適切な日時を書きなさい。
- (4) 次の**ア～カ**のうち、（ d ）に入る経度と緯度に当たるものとして最も適しているものを二つ選びなさい。

**ア** 東経 120 度から東経 135 度

**イ** 東経 120 度から東経 155 度

**ウ** 北緯 20 度から北緯 50 度

**エ** 北緯 30 度から北緯 60 度

**オ** 南緯 20 度から南緯 50 度

**カ** 南緯 30 度から南緯 60 度

- (5) 下線部①に当たるものを次の**ア～エ**から一つ選びなさい。

**ア** おきの とりしま 沖ノ鳥島

**イ** みなみとりしま 南鳥島

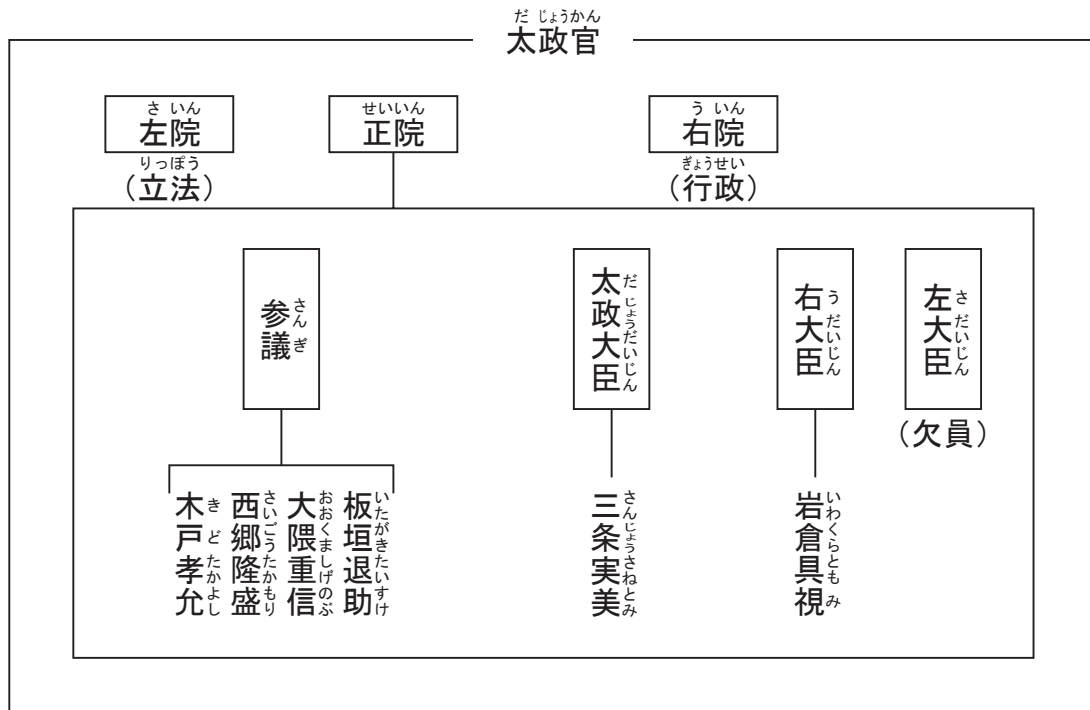
**ウ** よ な ぐ に じ ま 与那国島

**エ** みや こ じ ま 宮古島

- (6) （ e ）に入る適切な語を書きなさい。

5 次の明治時代に関する図と文章を見て、あとの問いに答えなさい。

図 明治政府のしくみ（明治4年）



明治政府は1871（明治4）年7月、<sup>①</sup> 廃藩置県を実施し、また、政府のしくみを上の図のように改めた。その後、政府は、<sup>②</sup> 右大臣岩倉具視を全権大使とした使節団を欧米に派遣することとした。いわゆる岩倉使節団である。

1871（明治4）年11月、岩倉大使のほか、<sup>③</sup> 木戸孝允、大久保利通、伊藤博文などの使節団に留学生などを加えた総勢で100名を超える人々が横浜港を出発、翌年、アメリカのワシントンに到着した。その頃、自由貿易や奴隷制をめぐる対立から1861年～1865年にかけて起こった（ B ）を終えたアメリカでは、産業が大きな発展をとげていた。

岩倉使節団は、一年十か月の間、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツなど12カ国を回り、欧米各国の政治・経済・社会・軍事・産業・教育・文化などさまざまな分野について調査し、わが国の近代化への道を探り、1873（明治6）年に帰国した。

明治政府の主要な人物たちが海外に行っている間も、明治政府が米価などに左右されずに安定した収入を得るために行った施策など多くの重要な施策が実施されてはいたが、岩倉使節団でさまざまな体験をして帰国した者たちと国内に残った者たちとの考えの違いは、のちの征韓論をめぐる対立につながっていった。

- (1) 文章中の下線部①の後のできごとについて、次の文中の（ A ）に入る適切な語を書きなさい。

明治政府は、1879（明治12）年になってから、（ A ）藩<sup>はん はいし</sup>を廃止し、その後<sup>おきなわ</sup>に沖縄県を設置した。

- (2) 文章中の（ B ）に入る適切な語を書きなさい。

- (3) 図の明治政府のしくみ（明治4年）は、やがて内閣制度<sup>ないかく</sup>が整い、大日本帝国憲法<sup>だいにっぽんていこくけんぽう</sup>制定のもとで帝国議会<sup>ていこくぎかい</sup>などが整備される中で、立憲制<sup>りっけんせい</sup>の国家としてのしくみに変わっていきます。文章中の下線部②・③の人物のうち、後に初代<sup>ないかくそうり</sup>の内閣総理大臣<sup>だいじん</sup>になったのは誰<sup>だれ</sup>ですか。次のア～エから一つ選びなさい。

ア 岩倉具視      イ 木戸孝允      ウ 大久保利通      エ 伊藤博文

- (4) 文章中の下線部④の施策に当たるものはどれですか。次のア～エから一つ選びなさい。

ア 学制<sup>がくせい</sup>      イ 地租改正<sup>ちそかいせい</sup>      ウ 徴兵令<sup>ちやうへいれい</sup>      エ 版籍奉還<sup>はんせきほうかん</sup>

- (5) 次のあ～うの文は、図の明治政府のしくみ（明治4年）における四名の参議<sup>さんぎ</sup>のうちの三名について、岩倉使節団が帰国したあとに行ったことをそれぞれ述べたものです。下のア～エのうち、行ったことと人物の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

あ. 征韓論をめぐる対立から政府を去り、後に自由党<sup>じゆうとう</sup>を結成した。  
い. 征韓論をめぐる対立から政府を去り、後の西南戦争<sup>せいなんせんそう</sup>の中心人物となった。  
う. イギリスのような議会政治をめざし、立憲改進黨<sup>りっけんかいしんとう</sup>を結成した。

ア あ—大隈重信      い—西郷隆盛      う—板垣退助  
イ あ—板垣退助      い—木戸孝允      う—大隈重信  
ウ あ—木戸孝允      い—大隈重信      う—板垣退助  
エ あ—板垣退助      い—西郷隆盛      う—大隈重信